

自治体・協議会名	愛知県公共交通協議会
評価対象事業	地域間幹線系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・新型コロナウイルスの影響により減収となっている地域間幹線系統について、県独自の補助要件の緩和を実施し、地域間幹線系統の確保維持に向けた支援を行ったことを評価します。
- ・路線廃止の申し出のあった路線について、対応方策等を協議したことを確認しました。
- ・地域間幹線系統の確保・維持に向け、令和5年1月20日に「愛知県バス対策協議会」を改組し、「愛知県公共交通会議」を設置、愛知県地域公共交通計画の策定に向け取り組んでいることを確認しました。
- ・「あいち交通ビジョン」モデル事業やMaaSの社会実装に向けた実証実験等、公共交通の利用促進につながる取り組みを、関係者と連携して実施したことを評価します。

期待する取組

- ・策定予定の愛知県地域公共交通計画に基づき、沿線自治体・関係事業者等と連携し、引き続き、地域間の公共交通ネットワークの確保維持に努められると共に、「まもる」から次の「たかめる」等についても取組が進むことを期待します。
- ・地域間幹線系統の利用促進について、県が関与した取組や各市町村の取組で成果が見えた取組に関しては、その成果の「見える化」についても検討や取り組まれることを期待します。
- ・地域間幹線系統の必要性やあり方、維持方策など県の考え等については、各市町村の協議会にて共有し、話し合い、その内容に応じて計画に反映される仕組みが計画に位置付けられることを期待します。
- ・地域間幹線系統の確保維持にあっては、運転者不足や運転者に係る働き方改革の動向も踏まえながらフォローアップされることを期待します。
- ・令和7年春の新半田病院の開院に向け、公共交通網の再編については鉄道・航路も含めた検討が進むことを期待します。